

はじめに

本書は、リスニングを中心とした英語授業で使われることを念頭に、大学1年生～2年生を対象として編まれた教科書です。大学レベルの英語リスニング用教科書は数多く出版されていますが、本書には類書にない以下のような特徴が含まれています。

- 1) 大学生にとって興味深いトピックをあつかった会話、ディスカッション、プレゼンテーションなどを聞きながら、具体的なリスニングの方法（リスニング・ストラテジーといいます）について集中的に学ぶことができる。
- 2) 日本に来た留学生たちを登場人物として設定することで、日本文化についても学びながら、異文化適応の過程を追体験していくことができる。
- 3) いろいろな種類の英語（たとえば、オーストラリア英語など）に慣れ親しむことができる。
- 4) リスニング（インプット）に終わらず、自己表現（アウトプット）まで学習をつなげることができる。

上記1) に関しては、ただ英語を聞き内容を理解するだけではリスニング力は向上しないという考えに基づき、「どのように聞くのか」という視点を学習者のみなさんに持っていただけるよう工夫をしました。2) に関しては、従来の教科書にありがちな日本人が英語圏に留学するというような設定ではなく、日本に来た留学生の目から異文化体験をとらえ、日本文化を参照しながら異文化適応の過程が学べるよう、あえて全Unitにストーリー性を持たせてみました。3) に関しては、昨今TOEIC®に導入されるようになったいろいろな種類の英語に慣れ親しめるよう、登場人物の出身国の設定を多様化する試みを導入してみました。4) に関しては、インプットされた内容をもとにして、自分の考えが表現できるようになるまで、学習者を段階的に誘導していくようタスクを組み立ててみました。

学習者のみなさんが、上記のような本書の特徴をうまく活用して英語リスニングの方法について理解を深め、継続的にリスニングにチャレンジしていく姿勢を身につけていただけるよう、著者一同、心から願ってやみません。

最後に、本書の編集にあたり金星堂編集部の方々に大変お世話になりました。ここに記して感謝したいと思います。

著者一同

Contents

| | | |
|---------|--------------------------------------|----|
| Unit 1 | Starting Out | 1 |
| | ■ 文脈から展開を予測しよう | |
| Unit 2 | University Life | 7 |
| | ■ 語句の言い換えに注意しよう | |
| Unit 3 | Getting Organized | 13 |
| | ■ 問題文や選択肢を先読みしよう | |
| Unit 4 | Out and About in Kobe | 19 |
| | ■ すべてを聞き取る必要はない | |
| Unit 5 | Misunderstandings | 25 |
| | ■ スクリプトで理解を確認しよう | |
| Unit 6 | Fuji Rock | 31 |
| | ■ 仲間と協力しあいながら聞き取り作業をすすめよう | |
| Unit 7 | Work (part-time jobs) | 37 |
| | ■ 要点部分を注意深く聞き取ろう | |
| Unit 8 | Family Life | 43 |
| | ■ 談話標識に気をつけよう | |
| Unit 9 | The University Festival | 49 |
| | ■ 背景知識を利用しよう | |
| Unit 10 | Society | 55 |
| | ■ 音の変化に慣れよう | |
| Unit 11 | New Year | 61 |
| | ■ 固有名詞に着目しよう | |
| Unit 12 | Clean Living | 67 |
| | ■ 視覚情報を利用しよう | |
| Unit 13 | A Change in the Weather | 73 |
| | ■ 語彙を増やそう | |
| Unit 14 | Packing Up | 79 |
| | ■ 数の表現に注意しよう | |
| Unit 15 | Back Home | 85 |
| | ■ 多様な題材をいろいろな人の声で聞いてみよう | |

Starting Out

■ 文脈から展開を予測しよう ■

留学 (study abroad) 先での初めての授業となると不安はピークに達するものです。授業の半分もわからない、先生とどう接して良いのかわからない、自分はこれからどうなるのだろうか？こんな悩みに救いの手を差し伸べてくれるのが友人たちです。友人たちと授業の理解を確かめあったり、学ぶ意義について議論しあったり、そんな楽しいひと時が不安をかき消してくれることでしょう。

Warm Up 1

CD 1-02

よく聞いて、それぞれの写真を一番うまく説明している文を a ~ d から 1 つ選びなさい。

1.

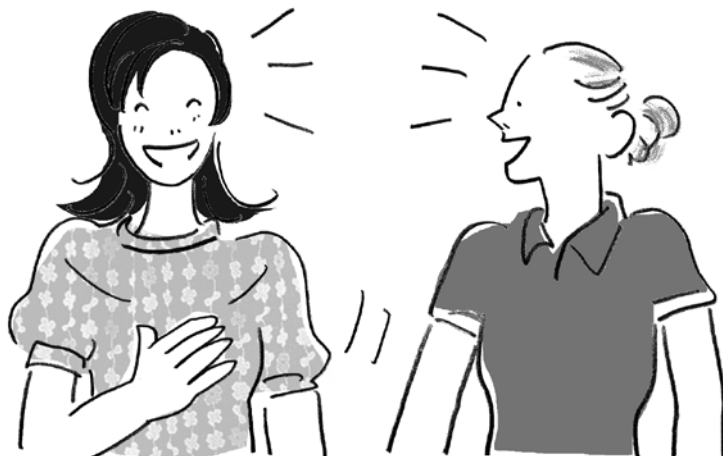


a b c d

2.



a b c d

**A** 会話を聞いて質問に答えなさい。

1. Where do you think Sophie and Erina are?
a At the theater **b** On campus
c In a park **d** In class
2. Why does Sophie start talking to Erina?
a Because she is bored **b** Because she wants to make friends
c Because she doesn't understand **d** Because Erina looks friendly
3. What do Sophie and Erina decide to do?
a Talk to each other later **b** Study Japanese together
c Write a report together **d** Talk about the teacher

B 会話を聞いて質問に答えなさい。

CD1-04

1. How much of the class did Sophie understand?
 - a About 20%
 - b About 50%
 - c About 90%
 - d All of it

2. Why is Erina's English so good?
 - a She spent a year abroad.
 - b She is from New Zealand.
 - c She studied hard.
 - d She was born in England.

3. When did Sophie arrive in Japan?
 - a Today
 - b A week ago
 - c A few days ago
 - d A month ago

Warm Up 2

よく聞いて、a～cのうちから一番よい応答に1つ○をなさい。

CD1-05

- | | |
|----------|----------|
| 1. a b c | 2. a b c |
| 3. a b c | 4. a b c |

Second Listening Reasons for Studying

CD1-06

A Sophie が言ったことを一番よく描写している文をそれぞれ1つ選びなさい。

1.
 - a She said that she met some other foreign students at lunch.
 - b She said that she talked about the campus all day.
 - c She said that she talked about why she was at university.

2.
 - a She said that she wants to earn as much as she can.
 - b She said that she wants to study as long as she can.
 - c She said that she wants to learn as much as she can.

B Jake が言ったことを一番よく描写している文をそれぞれ 1 つ選びなさい。

1.
 - a He said that nothing is really important.
 - b He said that the future is most important.
 - c He said that history is most important.

2.
 - a He said that graduating is going to be a problem.
 - b He said that studying electronic engineering is a waste of time.
 - c He said that studying history won't help you get a job.

C Shan が言ったことを一番よく描写している文をそれぞれ 1 つ選びなさい。

1.
 - a He said that he wants to have a good time.
 - b He said that he wants to study hard.
 - c He said that he wants to join a club.

2.
 - a He said that he met many people today.
 - b He said that he has many hobbies.
 - c He said that university is not only about studying.

D 次の質問についてグループでディスカッションをしてみましょう（話を始める前に考えをまとめて、それをメモしなさい）。

1. Whose opinion do you agree with most? Sophie's, Jake's or Shan's? Why?
2. What do you put most of your time and effort into at school?

Third Listening Why I'm Here

CD1-07

A 弱形（弱く発音される部分）に注意して下線をうめなさい。



Jake

My name is Jake. I'm an American ^{1.}_____ Pennsylvania. I'm 21 years old, and I've recently started studying electronic engineering ^{2.}_____ university in Kyoto, Japan. I'm an exchange student ^{3.}_____ will be living here in Japan for a year.

I decided to come here to study because Japan is one of the world leaders in the field ^{4.}_____ electronic engineering. Japanese technology is especially advanced in ^{5.}_____ area of robotics. I hope this experience will be useful ^{6.}_____ my career when I go back to the United States, graduate and start working.

However, I don't plan to be studying all the time. I want to enjoy being in Japan as well. I hope to make friends at the university and have ^{7.}_____ lively social life. Back ^{8.}_____ America I played basketball, so I'm thinking ^{9.}_____ joining the university basketball club. I've heard that joining a club is one of the best ways to make friends here.

B 大学で学ぶ理由を自分なりに考えて短いパラグラフにまとめなさい。

C B で書いたパラグラフを使い、自分の考えをクラスに報告しなさい。

■文脈から展開を予測しよう■

文脈から話の展開を予想するというと、何か高度なことをやるように聞えますが、決して難しいことはありません。我々は、母語での聞き取りでも日常的にこのような行為をおこなっているのです。たとえば、バイトを休みがちの友人の話をしている、「明日もまた…」といわれると、その後続くセリフはある程度推測できるはずで、外国語のリスニングでも同じことで、いままでの流れの中で理解できた部分などを参考にして、入ってくるインプットの内容を常に予想・確認しながら処理するのです。

さて、文脈からの推測のやり方にはいろいろとありますが、ここでは3つほど紹介しておきましょう。

- 1) スクリプトを利用する
- 2) キーワードを利用する
- 3) 談話標識を利用する

まず、ここで言うスクリプトとは、固定化された話の展開パターンのことをさします。たとえば、「くしゃみスクリプト」では、くしゃみをした人に対して、周りの人が Bless you! と言い、これを受けてくしゃみをした人は Thank you. と答えます。このように最初からある程度決まったパターンが存在している場合は、どのようなセリフが Bless you! のあとに出てくるかを推測するのはきわめて容易になります。このようなスクリプトはいくつかありますが(たとえば、お世辞スクリプト、レストラン・スクリプト、断りスクリプトなど)、慣れておいて損はないものです。

2つ目のキーワードとは、リスニングの際に繰り返し出てくる重要語句をさします。たとえば、Africa, Poverty という単語が繰り返し出てくると、おそらくはアフリカの飢餓に関する話題が話されていると予測がつきます。つまり、文脈中に繰り返し出てくる語句は主題と密接に関係すると考えて、これを利用して意味を推測するのです。

3番目の談話標識(Discourse Marker)とは、話の展開の方向性を教えてくれるサインのようなものです。たとえば、Let me explain my three reasons. Firstly, Secondly, and finally, というと、理由は3つあり、それぞれ、Firstly, Secondly, Finally の後ろに理由が述べられていることが推測できます。下線部のような語句を談話標識と呼びますが、この例のほかにも、付加を示すもの、結論を示すもの、逆接を示すもの、話題の転換を示すものなど、いくつも存在しています。それぞれどのような表現があるのか、一度みなさんと議論してみるのも良いでしょう。